

木曾地域における学びあい（合い・会い）創出事業

取組に至る背景・事業の目的

- 少子高齢化がすすむ地域において、失われつつある地域固有の文化や地域資源がある。より多様な視点を取り入れていくためにも、地域内外の人が交流しながら地域資源やその活かし方について学ぶ場が必要である。また、新しい視点を取り入れていくためには、地域資源を再評価し伝えていくための学びの機会を創出することが必要である。木曾地域にある学びや体験プログラムを、施設や地域などを横断的に確認できるものがなく、プログラムが開催されても情報発信に限界があるため、参加者層に広がりがない。
- 今回、受講者が次の活動や学びの場をつくっていけるようなプログラムを提供し、主体性を持った「学ぶ」意欲のある人たちが交流しながら学ぶことで、多様な視点のある学びの場を形成することができ、観光でも体験でもない「学び」による交流を促す。また、木曾地域に存在している学びの場を繋げて Web 媒体で情報発信をすることで、「学び」のプログラムによりアクセスしやすい環境を作り、魅力的な講師を呼ぶことで、地域内外への「木曾での学び」の効果的な訴求を図る。

事業内容

- 木曾地域にて、中山間地域でのこれからの生き方や働き方を考える学びのプログラムを実施し、地域内外の人が交流することで、多様な視点を地域に取り入れた。
- 地域内外の人が交流する新しい学びの場として学び講座「さとくらしカレッジ木曾」を全8回実施。
- 木曾地域で開催される学びの情報を繋げる Web サイトである「fumfum」を作成し、情報発信を行った。



【第1回さとくらしカレッジ木曾の様子】

事業効果

- 中山間地域での生き方を考える「さとくらしカレッジ木曾」では、講座全8回へ合計118人が参加。
- 今回の講座から派生したイベントが7回実施された。
- 講座イベントボランティアスタッフとして、地域内外からイベントに共感してくれた13人の協力を得られた。
- Webサイト「fumfum」作成を通して、他施設のイベント主催者や地域のPR冊子作成チームとの連携に繋がった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 地域内外の講師を招いた学びのイベントを継続的に実施すると同時に、より実践的で長期的な学びのプログラムを実施する。また、都市部や地域外からの参加者への周知のために、木曾地域からのオンラインイベント等も実施するとともに、イベント開催の記事投稿などをおこなうことで、イベント認知率をあげていく。

【選定のポイント】

学び講座の開催や、そこから派生したイベントが7回実施されるなど、地域内外の活動者の人達がつながる場を創出した。また、地域の学びを繋げる Web サイトを開設し、地域住民が主体となって学びの情報発信を行っていく基盤づくりを行うなど交流促進に効果が認められる。引き続き地域住民の参加による講座やイベントの開催が期待される。

団体名 木曾マナビネットワーク（木曾町）	事業タイプ	ソフト事業
ホームページ http://fumfum-kiso.com/	事業費	1,109,460円
メールアドレス info@fumfum-kiso.com	支援金額	832,000円